

<金標準、中国のプレミアムが剥げ落ち 8700 円へ・・・>



(出所：オアシス)

FOMC 後は、金融担当者がパウエル FRB 議長の発言でもある「より高く、より長く」を繰り返すなど、インフレ抑制を推し進める動きが示唆され、10 年債の金利は 2007 年以來の 4.5% を超える水準まで上昇するなど、金利を生まない金にとって妙味が欠ける状況である。

また中国のロンドン価格に対する金プレミアムが火曜日には 105 ドルを維持していたが、中国が 28 日から国慶節に入るにあたり、中国人民銀行は金の輸入許可を出した事から金のプレミアムが 42 ドルまで下落するなど、金価格を下支えしていた要因が途絶えている。

また金 ETF 残高でも SPDR ゴールドシェアが 4 週連続で減少し、iShare ゴールドの残高は 10 週連続で減少するなど、先週からの金市場を取り巻く環境が変化している。

特に NY 市場で 1900 ドルを下回った事から、金標準先物も 9000 円の心理的な抵抗帯を下回り 8 月の安値 8800 円へ向けた戻り基調を強めて来ると予想され、中国の国慶節が明けると 10 月 9 日までは下値模索の展開に注意が必要と思われる。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD や RCI では、MACD は **MACD** が下向きのみで **シグナル** も下向きの状態であり、RCI でも **短期** が -100% まで下げながら、**長期** もマイナスサイドまで下げるなど、目先のオシレーターが悪化しており、最悪 8700 円までの下値追いに注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,530,000 円(2023 年 10 月 2 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 87,120 円(2023 年 10 月 2 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30) 証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター <https://www.nisshokyo.or.jp>